



# ゆ〜かい〜ぶす 30号

兵庫高等学校第3学年

## 67回生へ〜餞の言葉



### なせばなる Part2

学年主任 M. T.

67回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

学年集会で何度か「やれば出来る」という話をしました。67回生への餞の言葉も「やれば出来る」をテーマに書きます。3年前に「為せば成る」の誤用として「成せば成る」について調べたことがあります。インターネットで検索してみると、当時は「成せば成る」は約101万件、「為せば成る」は約42万件ヒットしました。ダブルスコアで誤用の勝ちでした。ところが、今回検索してみると「成せば成る」は24万件、「為せば成る」は62万件でした。3年間でこんなに結果が変わるとは驚きです。全体のヒット件数が減っているのだから、きっと検索数の集計方法が変わったのだと思いますが、様々なことは気付かないうちに変化していつているのだと改めて思いました。皆さんもこの3年間で立派に成長しましたね。67回生は「やれば出来る」人たちの集まりですから、今後も何事にも積極的にチャレンジしてください。皆さんの活躍を期待しています。

因みに“なせばなる”の原文は「為せば成る／為さねば成らぬ／何事も／成らぬは人の／為さぬなりけり」は第九代米沢藩主、上杉鷹山の言葉とされる歌だそうです。しかし、上杉鷹山より前に武田信玄が「為せば成る／為さねば成らぬ／成る業を／成らぬと捨つる／人の儂さ」という歌を詠んだそうです。

### 相部屋のな青春時代を

学年副主任・1組担任 Y. H.

卒業おめでとうございます。

最近、ある学生寮での大学生の日常生活を描いたテレビ番組を見ました。昔は相部屋で上級生と下級生が濃密な人間関係を作りながらの寮生活でしたが、今は個室を希望しあっさりとした関係を好む者も多く、かつての雰囲気も変わりつつあるとのことでした。これも時代の流れでしょうね。

自分が寮生活をしなければならぬと仮定し、「相部屋、個室どちらを選ぶ？」と聞かれたら、どちらを選びますか。是非とも「相部屋！」と答えましょう。それぞれの長所、短所はありますが、感性が豊かな時に、色々な考え方や個性に触れ、ぶつかり合い、悩み、悲しみ、喜び、笑いながら、ますます自分を磨いていってください。きっと何かが見つかるはずですよ。

お元気で、そして幸せな人生を！

## “大人”になる皆さんへ

2組担任 Y. H.

67回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

ついに高校を卒業して、大人への第一歩を踏み出すわけですが、大人になるってどういうことでしょうか？選挙権が与えられる年齢を18歳に引き下げる法案が議論されるようになって久しく、たびたびテレビや新聞で取り上げられています。一方で、当の若者から「まだ早い」「責任持てない」と声も上がっています。べつに公民科の教員としてここで若者問題をとりあげたいわけではなく、ただ、大人になることにそんなに構えなくていいのになあということをお伝えしたいのです。人は時間が経てばいつの間にか“大人”になってしまいます。慎重に、責任感を持って、失敗しないように、分別を持って…そんな“大人”ではなく、漢語の“大人”を目指してほしいと思います。人生で「取り返しのつかない失敗」なんてそうそうありません。今まで兵庫高校でそれなりの経験を積んできた皆さんなら、なおさらです。色々なことに挑戦して、失敗して、自分の道をつかんでください。

そして、最後に3年2組のみなさん、1年間本当にありがとうございます。実は私にとって、担任として送り出す最初の生徒は皆さんなのです。どうぞ、自分の可能性を信じて意気揚々と前へ踏み出してください。

## 「賢い人」に

3組担任 D. S.

ご卒業おめでとうございます。1年間の付き合いでしたが、ありがとうございました。久しぶりに母校に戻ってきて、高校時代を懐かしく思いながら楽しく過ごさせてもらった一年間でした。

今後皆さんはさまざまな方面に進まれて、活躍するでしょう。今の時代は、インターネットやスマホの普及に伴い、知識をたくさん持っている人が重宝されるのではなく、知識をうまく活用できる人が望まれる時代であると感じています。今はわからないことがあっても、スマホを使って調べれば誰でもすぐにわかるようになりました。しかし、それをどう活用するかは調べてもわかりません。持っている知識をいかにつなぎ合わせて活用するか、それがその人の能力であると思います。私はそれが本当の意味での「賢い人」であると考えています。

皆さんはこの3年間でいろいろなことを経験したと思います。その経験が今後の人生で必ず生きると思います。私もこの立場になってからそれを実感しています。では、また逢う日まで。お元気で。

## 旅立つ貴方たちへ

4組担任 C. I.

卒業おめでとうございます。

私はあなた達の入学と同じ春にこの兵庫高校に転勤してきました。

1年目。新しい環境で、みんなと共に右往左往しました。行事も手探り状態。年齢のせい、順応力の低下を痛感。でも、元気なみんなに助けられて何とか進級。

2年目。みんなの中に潜む可能性の片鱗がチラホラ見え始め、楽しみに感じるとともに、その若さに羨望の思いを抱いたものです。

3年目。高校生らしい受験生活をモットーに、勉強にも部活にも行事にも精一杯取り組む姿に感動。全員が本格的な受験勉強に入り、センター試験を迎えるころ、みんなの底力を実感しました。

さて、これから広い世界に旅立つ貴方たちに願うことがあります。それは、バックボーン（生き方を支える信念・精神的支柱）を見つけ、育ててほしいということ。疾風怒濤の中でも、どのような混沌の世においても、決して揺らぐことのない確固たるもの。これは、その人に落ち着いた輝きを与えます。暗闇の中で辺りを照らす灯台のような輝きです。人の一生とはそれを見つけ、育てる旅のようなものだと思います。その旅に幸多きことを祈っています。

最後に私の好きな詩を贈ります。

あ い

谷川俊太郎

あい 口で言うのはかんたんだ  
愛 文字で書くのもむずかしくない

あい 気持ちはだれでも知っている  
愛 悲しいくらい好きになること

あい いつでもそばにいたいこと  
愛 いつまでも生きていてほしいと願うこと

あい それは愛ということばじゃない  
愛 それは気持ちだけでもない

あい はるかな過去を忘れないこと  
愛 見えない未来を信じること

あい くりかえしくりかえし考えること  
愛 いのちをかけて生きるこ



## 『素敵』な姿

5組担任 H. K.

卒業おめでとう。これからの社会を担う、大きな力となる皆さんへ私からのお願いです。

現代社会では「生命」に対する考え方が大きな変化を見せています。ショッキングな書き方をしますが、「iPS細胞」を用いた不老不死への挑戦、「出生前診断」による命の選別、「遺伝子診断」による遺伝子レベルでの差別、「遺伝子組み換え」技術を用いた生態系に属さない新種生物の誕生 etc.

科学技術の革新により、私たちは大いなる恩恵を得ています。その一方で上に書いたような大きな不安感を抱かされる現象も。自然科学に限らず、人文科学であれ、社会科学であれ先人の発見や考えを実際に活用するのは我々の務めです。その技術を生かすも殺すも私たち次第。もっと言えば、これからの社会を担う皆さん次第です。でも、興味がなければ振り回されるだけかも・・・。

様々なことに興味を持ってください。そうして周囲に目を向けると世間にはさまざまな問いと答えが氾濫しています。どれも正しそうだし、どれも間違っていそうだし……。でも高校生活で学んだことが自分なりの答えを導き出す助けになるはずです。今は考えられなくても大学生活や社会に羽ばたいてから考えさせられるかもしれません。その時に（たとえ偏った意見だとしても）自信を持って答えを導き出せる人って、私にはとても『素敵』な姿に見えます。残念ながら、私もまだまだですが……。皆さんが母校に帰ってきて、そんな『素敵』な姿を見せてくれることを楽しみにしています。

## チャレンジ

6組担任 M. K.

67回生の皆さん、卒業おめでとうございます。振り返ればあっという間でした。毎日の学校での生活はもちろんですが、行事ごとに皆さんの成長していく姿を実感することができました。その中でたくさんの感動や感激を共有できたことを感謝したいと思います。高校を卒業したとはいえ、まだまだ人生は始まったばかりです。人生、山あり谷あり。いろいろなことが待ち受けています。新たな旅立ちを前に不安と期待でいっぱいであると思います。不安は期待の裏返しで目標達成の可能性が高いほど不安も高まるのだと思います。不安な気持ちはプラスに転換し、大いなる可能性に向かってひるまずチャレンジしていきましょう。皆さんの活躍を楽しみにしています。

## いまを生きる

7組担任 T. Y.

### Carpe diem

この言葉を皆さんに贈ります。「カルペ ディエム」と読みます。英語ではなくラテン語で、古代ローマのホラティウスという詩人の言葉です。"Seize the day"と英訳されます。

私がこの言葉に初めて出会ったのは、大学で英文学を学んでいる時で、その時はこの言葉の意味についてあまり深く考えることはありませんでした。その後10年ほどして、英語の授業の中で『いまを生きる (Dead Poets Society)』という映画を見たのですが、その中で思いがけずこの言葉に「再会」しました。それ以来、この言葉は私の「座右の銘」の一つになっています。

「今さえよければいい」というような利他的な意味にも取れる言葉ですが、一般的には『目の前の今』を大切にしよう」という意味で捉えられています。過去のことをくよくよと思わず、また「今すべきこと」「今できること」を未来に先送りするのでもなく、「今」という時を大切に、精一杯生きて行ってほしいと願います。

## 心静かに感じるもの

学年付 Y. M.

私は以前から東山魁夷画伯（1908～1999）の絵が好きで、「緑響く」の作品のレプリカを自室に飾り、毎朝目覚めるといつもその絵を見えています。緑色の見事なグラデーションの森に静かに佇む白い馬の清廉さに、心満たされる思いがします。縁あって兵庫高校で勤務させていただくことになり、画伯が神戸二中出身の方だと知って以来、いっそう親しみを感じるようにな

りました。

画伯は横浜に生まれ、3歳の時に神戸に引っ越して来られ、18歳で東京美術学校へ入学されるまでずっと神戸で過ごされました。幼い頃は専ら家の中で一人で遊ぶのを好み、絵本を見たり絵を描いたりしておられました。「閉鎖された自分だけの世界に安息を見出す性格だった」と後に語っていらっしゃいます。

神戸二中時代には淡路島や神戸の裏山、須磨の奥の静かな池の畔を頻繁に訪れ、豊かで静かな自然の中に浸るのを楽しみにされました。さらに、美術学校在学中に初めて旅した長野の土地に魅せられ、山国の自然の厳しさや素朴な人々の心の温かさに触れ、それ以来何度も信濃路を訪れて自然を観察し、描いていく中で、風景画家としての道を歩くようになられました。

このような幼少期から青年期にかけての体験が、その後の画伯の作風に映し出されているように思います。私が思う画伯の作品の魅力は、静寂さの中に生命が生き生きと感じられること、緑色と青色という、自然界を象徴する色調の描き方が見事なこと、そして、絵の全体に、観る者の心を優しく包み込み安息感を与えてくれる温かさがあることです。

一番好きな作品は、1999年に描かれた「夕星（ゆうぼし）」という作品で、画伯の絶筆となったものです。現在、長野市にある「長野県信濃美術館東山魁夷館」に寄贈され、定期的に一般公開されています。数年前の夏、友人とこの美術館を訪れた時、運よく展示されていたので、本物の「夕星」の絵を真近で観ることができ、とても幸せなひとときを味わうことができました。

使われている色はサファイアブルーの一色。若干の濃淡はありますが、ほとんど区別がつかないほど同じ色を使っているにもかかわらず、少し離れてみると、そこには深い森の奥の静かな場所が描かれているのです。正面には背の高い樹木が4本そびえており、その木々の上方には夕星（金星のこと）が、小さいながら確かに明るく煌めいている。崇高で深遠な、夢のような世界に引きつけられます。画伯自らの「これは誰も知らない場所で、実は私も行ったことがない。つまり私が夢の中で見た風景である」とのコメントが添えられ、おそらく人生の終焉が近づく中で、自分の最後の心安らぐ場所を描きたいと考えられたのだと思います。本当に、観る者の心を解き放ち、安らぎと清涼感を与えてくれる作品で、90歳という年齢でこれだけのものを描くことができる画伯の気迫と才能に、改めて深く感じ入りました。友人と、「一日中ここにいてこの絵をずっと観ていたいね」と語り合いました。

この美術館では、魁夷画伯の約500点の絵画、その他スケッチ画や下図など、数多くの作品を鑑賞できます。新幹線が開通し、長野も行きやすくなりました。67回生の皆さん、もし機会があればぜひ一度訪ねてみられてはいかがでしょうか。（「長野県信濃美術館東山魁夷館」へのアクセス：JR長野駅よりバス、城山公園前下車、徒歩数分。善光寺の東側にありますので、お寺参りも兼ねてどうぞ。）

## 脱CP

学年付 Y. K.

卒業おめでとう。たった一年でしたが中身の濃い、楽しい一年でした。兵庫高校って忙しいけど楽しいなあと実感しました。三年間をここで過ごしたみなさんは、もっと強く実感していることでしょう。

次のステージではどんな生き方をしますか？

一つ望むことは、コストパフォーマンスなんて度外視した生き方をしてほしいということです。例えば受験勉強では試験にいかいらないか、試験にでるかどうかなどが最重要ポイントで、要領よく効率のよい勉強というのが最大の命題になっていましたよね。大学ではどうなのでしょう？単位を取るために、何点以上とればいいのか、何日まで欠席できるか、そのミニマ

ムを狙って、いかに省エネで勉強するか。そんな風になるのでしょうか？でも、勉強ってそんなものではないでしょうか？最小努力で最大結果。無駄なことはしない。競争に勝つことが大事。なんてせこい価値観でやるものではないはず。いっぱい寄り道したり、脇道にそれたり、そこでまた面白い物に出会ったりしていくのが、楽しいのです。学びや生きることでは脱CP。あえて回り道をして楽しんでほしいなあと思います。

最後にみんなにとって兵庫高校は母校の一つです。母校とは「母港」でもあり、何かあったときには戻ってきて、羽を休める場所です。灯台めざして帰ってきてください。

## 未来に向かって自分を磨け！

1年・2年次学年主任  
Y. O.



卒業おめでとうございます。3年前の春に入学してきたのがつい最近のように思われます。皆さんとは野外活動、修学旅行に一緒に行き、元気に活動してくれたことが印象に残っています。様々な学校行事を無事終え、最上級生として立派に活躍してくれたことをうれしく思います。

さて、社会はグローバル化の進展により人とモノが世界中を行き交うようになりました。それによって、競争が激しくなり、日本は厳しい状況にさらされています。多くの日本企業が外国人を採用し、海外へ事業展開をしています。学校現場でもグローバル人材の育成が求められるようになりました。これからは皆さんも海外へ行く機会が増え、外国人と研究や仕事を一緒にすることが増えるでしょう。

これからますます厳しい時代が来るかもしれませんが、卒業後の新しい世界ではさらに自分を磨き、グローバル社会の中でたくましく生きていってほしいと思っています。皆さんの今後の活躍を期待します。

### 67回生 同窓会幹事

1組	Y. F.	Y. K.
2組	K. S.	S. F.
3組	M. N.	Y. S.
4組	M. S.	K. N.
5組	S. N.	T. I.
6組	T. K.	A. N.
7組	E. H.	S. H.

学年代表 T. K.・Y. K.

覚えていますか？第1・2号は名前のない学年通信でした。時代を象徴するようなハイブリッドなタイトル名となって30号まで続きました。寄稿して下さった先生方、そして67回生の皆さん、ありがとうございました。

編集者一同

### 季節の言葉

雨水 うすい  
2月19日～3月4日ころ

降る雪が雨へと変わり、氷が解け出すころのこと。昔からこの季節は農耕の準備を始める目安とされてきました。

啓蟄 けいちつ  
3月5日～3月19日ころ

啓蟄とは、陽気に誘われ、土の中の虫が動き出すころのこと。一雨ごとに春になる、そんな季節の気配を感じながら。